

はせさんずび

2014 秋号 NO.67

エヌーエヌ

2014年9月18日(木) 発行

認定NPO法人

たすけあい大田はせさんず

理事長 佐藤 悟

〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3

はせさんず(会員制) 03-5747-2610

ヘルパーステーション 03-5747-2816

ケアサポート 03-5747-2800

デイホーム 03-5747-2660

元気かい 03-5747-2605

FAX専用 03-5747-2620

はせさんずの介護予防事業 「元気かい」進化中!

はせさんずは、高齢者に在

者、生きがいと地域社会へ
宅生活支援のボランティア活
動を続けるなかで介護予防の
重要性を痛感し、平成13年に
独自の介護予防事業として「
はせさんず元気かい」(通
称「元気かい」)を設立、さ
まざまな活動をしています。

◆設立の目的
趣意書において「介護保険
制度がスタートし高齢者への
支援や介護が必要になったと
き対策は整いつある」が、
「要介護の状態になる前に、
高齢者がいつまでも元気に過
ごせるようにする予防的対策
も重要な課題である」とし、

「住み慣れた家を生活の根拠
地として、地域の高齢者仲間
とふれあい、相互扶助を少な
から」「残された人生をより
いきいきと豊かにすることを
目的とする」としています。

◆活動の内容
主な活動は次の3点。
(1) ふれあいの広場
家に閉じこもりがちな高齢

者、生きがいと地域社会へ
宅生活支援のボランティア活
動を続けるなかで介護予防の
重要性を痛感し、平成13年に
独自の介護予防事業として「
はせさんず元気かい」(通
称「元気かい」)を設立、さ
まざまな活動をしています。

◆参加者
参加者は、60歳以上の概ね
自立と認定される高齢者。発
足当時は年間250人程度で
したが、近年は3000人に
上るようになりました。

◆サークル活動
体操教室、パソコン教室※
絵手紙、歌の集い、麻雀教室※
英会話、俳句と年々多彩に。
活動形態も、専門の講師を迎
えて(体操やパソコンなど)、
参加者のなかから講師を立て
て(絵手紙)、中高年ボランティア

話など)と多様です。※現在は終
「元気かい」による介護予
◆事業の位置づけ
の指導のもと(麻雀や英会
話など)と多様です。※現在は終

「元気かい」の進化中!



【元気かい】立ち上げに向けて
平成13年7月、当時の坂口理事長
や中谷代表が、西野善雄理事長
に、介護予防の趣意書について
「公設の施設使用については、
書からの作り上げが適切であり、
区民が行政と区長と区民ががど
もに、介護の施設がなければ効
用になり直した。その結果、地
西小学校敷地内「青年の家」の
【ふれあいの広場】の活動が

■設立総会

平成13年9月29日「青年の家」
で「元気かい」の設立総会と記念パ
ティを行いました。大田区長代理、
各会派の区議会議員、はせさんず
会、支援者など58名が出席。
「元気かい」の発展を願いました。



「はせさんず元気かい」設立総会



見学会(羽田飛行場)

から元気に活動を続
けていきます。

防は、要介護認定で軽度者を
要支援1・2と認定する、い
ゆる介護予防とは異なるも
のです。来年度の介護保険改正
では要支援1・2の高齢者を
居場所、交流会やサロンなど
で、地域支援事業へ移行する
と見えています。「元気かい」
の積極的な対策を望みます。
「元気かい」を当初から牽
引してきた中谷三郎代表が平
成25年度末で退任、新代表は
佐藤悟理事長が兼務します。
利用者と提供者をマッチング
する機能は対象外とした。
はせさんずは研修会や座談
会などで、この改正にたびた
び疑問を表明してきたが、最
大の不安要素はBの住民ボラ
ンティア主体のサービスであ
る。はせさんずの会員制たす
けあい活動とは異なるもの。
大田区全域をカバーする受け
皿があるのか。支援組織を誰
が作り、どのような人が参加
するのか。行政の方針も明らか
になっていない。このままで
は利用者は切り捨てられる可
能性大。仕組みが確定する前
から、NPOや民間団体と情
報交換してほしい。(佐藤)



星食会



体操教室



麻雀教室



絵手紙

平成27年度から要支援
者の生活支援サービスが
市区町村に移管されると
いう介護保険制度改正を
含む「医療介護総合確保
推進法」が6月に成立し、
7月には「介護予防・日
常生活支援総合事業ガイ
ドライン」が発せされた。
それによると従来の訪問
型サービスは、A.緩和
した基準によるサービス
と、B.住民ボランティア
ア、住民主体の自主活動とし
て行う支援に分類される。布
団干し、買物代行や調理、掃
除、ごみ出し等を、ボラン
ティア主体の訪問介護員また
は一定の研修受講者が行う
例が示されている。

地域に不足するサービスの
創出や、サービス提供者の連
携体制づくりの役割をもつ生
活支援コーディネーター(地
域支え合い推進員)の配置に
取り組むことも明記された。
しかし、日々支援の必要な
用者にとってもっとも重要な
利用者として提供者をマッチ
ングする機能は対象外とした。
はせさんずは研修会や座談
会などで、この改正にたびた
び疑問を表明してきたが、最
大の不安要素はBの住民ボラ
ンティア主体のサービスであ
る。はせさんずの会員制たす
けあい活動とは異なるもの。
大田区全域をカバーする受け
皿があるのか。支援組織を誰
が作り、どのような人が参加
するのか。行政の方針も明らか
になっていない。このままで
は利用者は切り捨てられる可
能性大。仕組みが確定する前
から、NPOや民間団体と情
報交換してほしい。(佐藤)

大田区議会懇談会

はせさんずが加入する大田NPO活動団体交流会では、区議会議員との懇談会を毎年実施してきましたが、昨年から、おた区民活動団体連絡会との合同開催となり、今後は8月2日(土)に福祉センターで開催される予定です。議員出席は公明党6名、民主党2名、自民党、共産党、ネット、緑の党が各1名。団体側の参加は23です。あり方について「区の各種審議会や委員会では公募委員の数を増やしてほしい」という意見が出ました。閉会后、出席したNPOから、議員が以前よりNPO活動を理解してきたとの印象をもったという感想が複数寄せられました。



ヘルパー活動日誌
横山 朋子

おかげで知識を得ることができ、母の介護を取り替えたから」と悔やんでいました。「大人人ホームへの入所、その後のサービス付ケアマンションへ、障害のある子どもを持つお母さんを手伝ってあげて」という祖母の言葉はずっと心に残っていました。私も30年勤めた会社を退職したので、ほんの少しお手伝いができるくらい、はせさんずのネーミングにひかれたいです。平成21年秋に面接、22年1月ヘルパー2級を取って、はせさんずの登録ヘルパーになりました。私自身、介護保険制度の内容は理解不足でしたが、はせさんずの仕事をしている向き合っています。



大田区訪問介護・通所介護事業者連絡会主催。たかせク良運転者表彰式があり、移送サービス(福祉有償リニック高瀬義昌医師と元日本テレビアナウンサー町屋聖さんの講演会のほか、介護人を務める大澤恵美子理事の確保をめざす大田区内の25の介護事業所がPRブースを開設。はせさんずがグレースを訪問した求職希望者にNPOの特徴、ヘルパー・ボランティアの説明が広まることを期待したい。今までも一番はせさんずに感謝していることは介護福祉士の資格を取らせていただいたこと。平成21年秋に面接、22年1月ヘルパー2級を取って、はせさんずの登録ヘルパーになりました。私自身、介護保険制度の内容は理解不足でしたが、はせさんずの仕事をしている向き合っています。

おた福祉フェス2014

9月7日(日)大田区産養ラザにて大田区訪問介護・通所介護事業者連絡会主催。たかせク良運転者表彰式があり、移送サービス(福祉有償リニック高瀬義昌医師と元日本テレビアナウンサー町屋聖さんの講演会のほか、介護人を務める大澤恵美子理事の確保をめざす大田区内の25の介護事業所がPRブースを開設。はせさんずがグレースを訪問した求職希望者にNPOの特徴、ヘルパー・ボランティアの説明が広まることを期待したい。



ハイポイントスライドなどを使って説明するヘルパーの相談員

池上まつりが開催される8月31日(日)に第12回池上まつりが開催されました。主催は池上まちなみ商店会。26団体の模擬店が並び、はせさんずは「寄り道」が寄り道カフェを初出し、椅子に腰かけスタンプと話しながらコーヒーを飲みながら楽しむことができました。この会会員による池上本通祭実行委員会と池上本通店。椅子に腰かけスタンプと話しながらコーヒーを飲みながら楽しむことができました。この会会員による池上本通祭実行委員会と池上本通店。



存在を広報する一日となりました。『寄り道』カフェは事務所毎月第3日曜にオープン。次回：9月21日(日) 11時～16時



表彰式 交通安全功労者表彰式 交通安全功労者 交通安全功労者表彰式 交通安全功労者表彰式

大田区訪問介護・通所介護事業者連絡会主催。たかせク良運転者表彰式があり、移送サービス(福祉有償リニック高瀬義昌医師と元日本テレビアナウンサー町屋聖さんの講演会のほか、介護人を務める大澤恵美子理事の確保をめざす大田区内の25の介護事業所がPRブースを開設。はせさんずがグレースを訪問した求職希望者にNPOの特徴、ヘルパー・ボランティアの説明が広まることを期待したい。

はせさんず各部門スタッフより 聞いて！ 聞いて！ 聞いて！

市民後見事務所

知っていますか、市民後見制度。年をとっても障害があっても安心して自分らしく住み慣れた地域で暮らせるように、私も市民後見について勉強しながらみなさまのお手伝いをしていきたいです。どなたから幸せに暮らしたいのか、楽しみながら関心をもつてもらうように、出前講座も用意を交わしていきます。相談受付は毎週木曜9時から12時 5700-5747。(布川靖子)

デイルーム

タクシー歴20数年、報道関係者の自宅・空港・職場への送迎経験を経てデザインホームの運転士となり3年8か月。朝夕は利用者宅への送迎ですが、午後は利用者たちが社会の風を感じながら運動を兼ねて外出する先へ送迎します。池上本門寺、平和島浜辺公園、羽田空港など20か所ほど。いろんな道路を走行しますが、無事故・無違反はあたりまえ、利用者が安全で安心、しかも楽しく乗車できますようにがんばります。(吉田義輝)

ケアサポーター

今夏は例年より脱水症に注意のお知らせがあり、ケアサポーターも池上特別出張所で8月に開催されたお休み処の企画に協力、参加しもあり、たくさんの人気が来て、折り紙や、三味線の演奏、ペアでするワッサーなど、涼みながら楽しんでいただけます。お会式まで9月以降も月1回はお休み処を開催する予定なので、案内を見かけたらぜひお立ち寄りください。(金子由貴)

ヘルパーステーション

ワスコミでも取り上げられるヘルパー不足、高齢者介護、障害者支援とも同様で、はせさんずでも大いに悩んでいます。先日「障害のある子供を特別支援学校へ送迎してほしい」との依頼があり、気持ちいいところ対応できるヘルパーがいなかった。本当に申し訳ない気持ちでお断りしました。ヘルパーがいなくて家族への負担は増すばかり、とても心配です。心あるヘルパーさん、来てくれ！(浅敷洋子)

会員制たすけあい活動

今年の夏も暑かったですねえ…。まあ9月たつてハナは暑いけど、やはり秋風も立ち始めていろいろ変化する季節。ココロギンカも鳴き始める頃です。はせさんず事務所も変わりますよ、まず「寄り道カフェ」を開店しました。まだ手探りだけど、大好きな町池上や近所の人たちが大勢来てくれるといいなあ。原則、毎月第3日曜に開いてますから、会員のみならずも足を運んでください。楽しく、仲良く、寄り道カフェ！(青木賢一)